



会

報

No. 66

平成20.11.1

みやま文庫

前橋市日吉町1-9-1
県立図書館内
Tel027-232-4241

◎平成二十年度役員職員

- 会長 大澤 正明 (群馬県知事)
- 副会長 福島 金夫 (群馬県教育長)
- 理事 〃 松島 榮治 (原文化財保護審議会議長)
- 理事 〃 原 富夫 (群馬県議会議員)
- 理事 〃 中島 篤 ()
- 理事 〃 中村 紀雄 ()
- 理事 〃 金子 浩隆 ()
- 理事 〃 関口 茂樹 ()
- 理事 〃 萩原 渉 ()
- 理事 〃 須藤 和臣 ()
- 理事 〃 あべともよ ()
- 理事 〃 水野 俊雄 ()
- 理事 〃 石川 貴夫 ()

- 理事 運営幹事 折茂 泉 (原文化振興課長)
- 理事 〃 徳安 尚人 (原議会調査広報課長)
- 理事 〃 新木 啓司 (原教養生涯学習課長)
- 監事 〃 福島 正巳 (元県人事委員会事務局長)
- 監事 〃 海老原洋三 (元県地方労働委員会事務局長)
- 編集委員 〃 松島 榮治 (原文化財保護審議会議長)
- 編集幹事 〃 久保田順一 (中世史)
- 〃 〃 石原 征明 (近現代史)
- 〃 〃 阪本 英一 (民俗学)
- 〃 〃 井田 金次郎 (文学)
- 〃 〃 野口 武久 (文学)
- 〃 〃 小林 三雄 (自然)
- 〃 〃 森村 方子 (女性・普及)
- 事務局 〃 矢端 勝夫 (県立図書館長)
- 事務局 〃 〃 能登 健
- 書記 〃 〃 吉邑 玲子

◎平成21年度の刊行計画 (予定)

- 「山口薫」(黒田亮子著)
- 「群馬の絹業に関する建造物」(村田敬一著)
- 「群馬県農業史下」(宮崎俊弥著)
- 「群馬を舞台にした小説」(県立土屋文明記念文学館編)
- * 20年度の刊行予定のうち「安中史帖」が「萩原朔太郎撮影写真集完全版」に変更されました。

◎会議開催

- ・20. 2. 27 編集委員会開催
- ・20. 4. 25 財務会計監査実施
- ・20. 5. 16 運営・編集合同幹事会議
- ・20. 6. 10 理事会

◎平成20年度みやま文庫の旅「前橋・高崎方面」

10月19日。「陸軍岩鼻火薬製造所の歴史」の著者である菊池実さんと、前橋空襲の体験者である原田恒弘さんの案内で、群馬の森に残されている火薬製造所の跡地と前橋空襲の痕跡を巡った。講師の方々には普段見過ごしてしまう歴史の痕跡について丁寧な解説をいただき、参加者との質疑応答もいっしょに多かったです。参加者29名。

みやま文庫の旅の思い出 野上和夫 (前橋市川原町)

私は、ある講座を受講したときに、講師の関俊治先生から「みやま文庫」を紹介され、早速入会した。平成4年の時である。新規事業であった第1回の「みやま文庫」の旅は、『上州の明治維新』の著者である中島明先生を講師として箕輪城址・下田邸・龍門寺・白岩観音などを、明治維新の世直し一揆をテーマにして見学した。以前に伊勢崎市の旧森村家を見学したことがあったが、この時にも大黒柱や鴨居に世直し一揆による傷痕が残されていたので、わずかの期間に上州一円にこうした動きが吹き荒れたとの歴史認識を深めたものだった。

10月は各種の行事が重なりなかなか参加できなかつたが、平成13年の第5回には参加できた。この時は飯倉・館林方面で、渡良瀬遊水池に残された旧谷中村の墓に隣接してリクリエーション施設ができていたことが印象的で心に残っている。また、水塚や揚げ舟など水害に抗する人々の知恵に接したときは、先祖が利根川の中州の開拓者であった私にとって感慨しきりのところがあった。

平成17年からは毎年参加しているが、講師の方のやさしい説明のほかに、事務局より配布される資料によっても理解が深まる。近頃は史跡付近には案内板や駐車場が整備され出している。なんと言っても、行く先々で地域の人たちによる史跡愛護の精神に接することは、この上もなく心強さを感じることである。今年度は菊池美・原田恒弘両先生のご案内で、群馬の森と前橋市街地の戦争の痕跡を巡った。身近なところに気がつかない歴史が残されているものだと感心した。これからも、健康を保ちつつ「みやま文庫」の旅に参加していきたい。

平成20年度収支予算

1 収入の部

(単位：円)

科 目	予算額 A	前年度 決算額 B	増減額 (A-B)C	備 考
会 費	7,310,000	7,109,820	200,180	・平成20年度会費 ・過年度未収会費
頒 布 代	500,000	2,616,200	△2,116,200	・頒布代
補 助 金	2,300,000	2,300,000	0	・県費補助金
雑 収 入	21,700	22,408	△708	・預金利子 ・職員雇用保険
繰 越 金	1,691,139	1,124,659	566,480	・前年度より
合 計	11,822,839	13,173,087	△1,350,248	

2 支出の部

科 目	予算額 A	前年度 決算額 B	増減額 (A-B)C	備 考
人 件 費	3,117,300	3,117,300	0	・職員給与(2名分)
会 議 費	60,000	40,152	19,848	・編集、運営合同会議 ・理事会
調 査 費	320,000	320,000	0	・原稿作成調査費
編 集 費	50,000	34,740	15,260	・編集委員会
印 刷 費	6,216,000	6,816,000	△600,000	・本・会報他印刷製本費
発 送 費	330,000	292,270	37,730	・書籍発送費、賃金等
事 務 費	200,000	188,844	11,156	・事務局運営費
諸 費	470,000	322,887	147,113	・郵便振替手数料、 慶弔費、旅費等
負 担 金	349,500	342,172	7,328	・職員健康保険、厚生年金 保険、働保等負担金
予 備 費	710,039	7,583	702,456	・予備費
合 計	11,822,839	11,481,948	340,891	

平成19年度収支決算報告

1 収入の部

(単位：円)

科 目	決算額 A	予算額 B	増減額 (A-B)C	備 考
会 費	7,109,820	7,700,000	△590,180	・平成19年度会費 ・過年度未収会費
頒 布 代	2,616,200	200,000	△2,416,200	・頒布代
補 助 金	2,300,000	2,300,000	0	・県費補助金
雑 収 入	22,408	20,000	2,408	・預金利子 ・職員雇用保険
繰 越 金	1,124,659	1,124,659	0	
合 計	13,173,087	11,344,659	1,828,428	

2 支出の部

科 目	決算額 A	予算額 B	増減額 (A-B)C	備 考
人 件 費	3,117,300	3,113,250	4,050	・職員給与(2名分)
会 議 費	40,152	60,000	△19,848	・編集、運営合同幹事会 ・理事会
調 査 費	320,000	320,000	0	・原稿調査費
編 集 費	34,740	50,000	△15,260	・編集委員会
印 刷 費	6,816,000	6,216,000	600,000	・印刷製本費
発 送 費	292,270	330,000	△37,730	・書籍発送費
事 務 費	188,844	150,000	38,844	・事務局運営費
諸 費	322,887	280,000	42,887	・郵便振替手数料他
負 担 金	342,172	349,500	△7,328	・職員健康保険、厚生年金 保険、働保等負担金
予 備 費	7,583	475,909	△468,326	・みやま文庫の旅補助
合 計	11,481,948	11,344,659	137,289	
次年度繰越額	収入額13,173,087円－支出額11,481,948円＝繰越額1,691,139円			

監査の結果誤りないことを認めます。

平成20年4月25日

福 島 正 巳
海老原 洋三